

大淀町農業委員会農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況

推薦の状況

(届出順)

番号	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦をする者)		推薦の 区域	農業委員 の候補者	
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定 農業者等 の区分	推薦を受ける理由	農地利用最適化推進委員となった場合に 取り組もうとする事項	氏名又は名称			推薦理由
1	若松 克昌	農業	67	男	昭和57年3月11日 近畿日本鉄道入社 令和2年4月1日 今木農業生産組合会計就任(現) 令和3年4月16日 今木区評議員就任(現) 令和5年2月28日 近畿日本鉄道退社 令和5年7月より 大淀町農地利用最適化推進委員	耕作面積 100 アール 生産作物 水稻	非該当	地域の農業の実態を考えると、80歳以上の高齢者が今後どれだけ農業を守っていくことが出来るか疑問である。67歳である私が「若い」とは言えないが、少しでも地域の農業、今後の持続可能な農業経営を考えていきたいと思い、推薦を受けることとした。 また、令和5年度より本委員として活動したが、引き続き本委員として活動を続けたい。	・農地として有効に利用できる耕作地を把握し、持続可能な食料生産を行う。 ・農業をやめた所から、農機具を借り入れ、農作業をする人たちに有効に貸し出すなど、高額になる農作業を安価にできるよう地域で協力し合う。 ・今後農業を継続して行おうとしている人たちとの連携を図る。	宮本 定則 峯 定和 松田 佳之	現在、100アールの水田を耕作している。地域における農業従事者のなかでは若手に属し、農業機械の大型化を図りながら、高齢化し農業をやめざるを得ない水田を耕作するなど、地域の農業存続になくてはならない存在である。また、機械の大型化だけでなく、農作業の時間短縮をどうすればよいか等、持続可能な農業経営を模索し続けている。令和5年度より、大淀町農地利用最適化推進委員として活動し、その職務を果たした。引き続き本委員として職に就けるよう推薦します。	西部地区	無